

令和7年7月18日

道徳だより「清明（せいめい）」 第3号

発行

美川中学校道徳係

7/10（木）に4つの学級で道徳の研究授業を行いました。事前に授業のねらいや流れについて全校の教員がチームに分かれて意見を出し合い、実際に授業をやってみた後で、今後の授業につながるように整理会を行いました。

○2年2組

＜内容項目＞

B他の人との関わり 思いやり、感謝

＜教材名＞

「魔法使いの少年—いつかの自分—」

押しボタン式の信号が赤に変わり、私は車を停めた。横断歩道を渡り終えた少年が車に対して丁寧に頭を下げると、周囲は一瞬にして笑顔に変わってしまった・・・

＜中心発問＞ 「私が少年を見て“魔法を掛けられた”と感じたのはどうしてだろう。」

＜生徒の感想より＞

- ・感謝の気持ちを伝えることで心があたたかくなることを覚えていたい。
- ・自分がされてうれしいことは、他人にもしてあげたい。
- ・思いやりや感謝は、言葉だけでなく行動でも伝えることができる。
- ・あたたかい気持ちになるなんてあまりないと思っていたけど、些細なことでも気持ちがあたたかくなることを知った。

○3年2組

＜内容項目＞

B他の人との関わり 友情、信頼

＜教材名＞

「合格通知」

私立高校に合格した舞は、親友の美穂にメッセージを送り報告した。美穂も喜んで、合格通知の写真にコメントをつけてSNSに投稿した。翌日舞は、不合格だった隆に「自慢するな」と責められた。SNSに投稿したことを詰め寄ると、美穂は泣き出してしまった・・・

＜中心発問＞ 「頭をかかえた舞は、どのようなことを考えていたのだろう。」

＜生徒の感想より＞

- ・3人とも問題がある。悪いところを認め合って真剣に話し合えるのが本当の友情だと思った。
- ・2回目があったら？相手のことを考えればよい関係になれるのか？モヤモヤ・・・
- ・それぞれ非があり、反省しなくちゃ。トラブルがあったら、自分は関係ないとは思わずに考えるべき。



○3年3組

<内容項目>

C 集団や社会との関わり 国際理解、国際貢献

<教材名>

「外国から来た転校生」

コジマくんのクラスにブラジルから転校生エレナがやってきた。校則違反で注意されたことのあるミキは、エレナのピアスを外させるよう学級委員のコジマにせまる。一方、エレナはブラジルでは母の愛のピアスを身につけるのは当然という・・・

<中心発問>

「”ピアスは私の体の一部です”と言われたとき、コジマくんはどう思ったのだろう。」

<生徒の感想より>

- ・外国の文化や風習は分からないから、知ろうとすることが大切。
- ・難しい問題だけど、日本人でも我慢している人もいるだろうから、先生たちに相談してみては。
- ・お互いの文化を尊重して認め合うのは簡単じゃない。しっかり話し合わない。

○あんず1

<内容項目>

A 自分自身に関すること 個性の伸長

<教材名>

「バンバンののにがてなこと」

みんなと違って、どうしても笛を上手に吹けないピロは、頑張っているのにも関わらず、みんなから「頑張れ」と言われる。嫌になり笛を沼へ投げ捨てるが、カップパに拾われ返されてしまったが、カップパに話を聞いてもらったピロは、カップパから「人と違うのは当たり前。今のやり方が合っていないかもしれない。」と言われて・・・バンバンの助けもあり、自分に合ったやり方を見つけたピロは、笛を吹けるようになった。

<中心発問> 「カップパさんに“人と違うのは当たり前。今のやり方が合っていないだけかもしれない。”と言われたとき、ピロ君はどんな気持ちだったのでしょうか。」

<生徒の感想より>

- ・得意なことと苦手なことをしっかり理解して、自信を持っていきたいです。

